

北総線高運賃問題で 京成の責任を問う



北実会は北総線運賃に関して
次の声明を発表しました。

2014.6.13 北実会が声明

4月17日、北総鉄道が2015年4月以降の北総線運賃を提示しましたが、依然として高運賃は少しも是正されていません。

私たち北実会は、これまでも京成の責任で運賃問題を解決することを求めてきましたが、森田知事が京成本社へ行き、花田京成電鉄会長が応答して、来年4月以降の北総線運賃を決めたという事実は、北総線高運賃に対する京成の責任は免れないことを京成自身が証明したものとなっています。京成電鉄は、公共鉄道の社会性に鑑み、北総鉄道の親会社として、直ちに北総線の高運賃を是正する責任を果たすように、改めて求めるものです。

4月17日の北総の提示は、私たちが主張してきた、自助努力での運賃値下げができることを示したものであり、その意味では、「儲かっている会社に市民の税金を投入するわけにはいかない」という印西・白井両市長の毅然とした態度が京成を譲歩させたものとして大きな意義があります。そして京成は、4月10日づけの北総鉄道名の文書で、県と沿線自治体にたいし無条件の自力値下げを明示していました。ところが、千葉県は北総鉄道への貸付金で新たな支援を申し出で、さらに、白井市長が先頭に立った耐震補強工事補助の協議を進めるなど、大きな問題点を含むものとなっています。

京成電鉄は、北総鉄道から多額の利益移転（成田空港線の線路使用料を事実上支払わない。千葉ニュータウン鉄道（小室～印旛日本医大）を通じて北総鉄道の利益を吸い上げている）をしています。それに関わらず、北総鉄道は、大手民鉄の平均利益率13%に対し、30%超の利益率であるほどの高運賃なのです。

私たち沿線住民は、これまでに十分運賃負担をしてきました。もうこれ以上高運賃を払わなければならない合理的理由はありません。あるのは京成という私企業がそのエゴのために、子会社の北総鉄道や千葉ニュータウン鉄道を操作して利権を手放さないということだけなのです。そういう京成に対して千葉県が指導するどころか、言われるがままになっているのでは、県民を裏切るものと言わざるをえません。

北総鉄道には自力で運賃値下げする力が十分あります。利益率を他私鉄並の13%にするだけで30億円もの原資ができます。利益移転分も含めれば、京成本線並の運賃にすることができます。今回の3.4%値下げ案は、県と京成トップの間で基本合意されました。北総運賃の決定権が京成にあることは、議論の余地がありません。改めて、京成の責任で、北総線の高運賃を是正することを求めるものです。

北総線の運賃値下げを実現する会 2014/6/25
連絡先 白井市堀込 2-1-5-704 TEL&FAX 047-492-4537

北総運賃問題・はてな？シリーズ 17

補助金なし **通学定期** 現状通り

市民と印西・白井市長の正論が京成の無法阻む

来年度の 北総運賃 普通・通勤定期はUP

印西、白井市はじめ北総線沿線6市が来年度から北総鉄道への補助金支給を打ち切る方針を決定したのに対し、「補助金を継続しなければ運賃を値下げ前に戻す」と自治体側を脅し、けん制していた北総鉄道や京成は、4月17日、「通学定期割引率据え置き、その他は値下げ率縮小」との方針を発表しました。これは、「補助金支出の理由はない。自助努力で値下げせよ」と一貫して主張してきた北実会はじめ市民の世論と、さまざまな妨害、圧力に抗しながら「補助金は継続しない」姿勢を堅持した印西、白井市長の正論のまえに、京成・北総鉄道が無理・無法を通せなかったことを示す、画期的な意味をもつものです。同時に多くの問題点も残されました。

北総鉄道が発表した平成27年4月1日以降の運賃の値下げ率は下記の通りです。（左側が現在の値下げ率、右側が27/4/1以降の値下げ率）

基本運賃（切符）	通勤定期	通学定期	平均
4.9% → 2.7%	1.1% → 0.6%	25% → 25%	4.6% → 3.4%

しかし、「値下げ」とはいうものの「市民生活の基盤をゆるがす高運賃」の実態に何の変りもありません。利用者が実際に払う運賃は、基本運賃（切符）も通勤定期も成田空港線開業（H22年7月）前よりも高く、値下げ率を据え置く通学定期も、京成その他の民鉄と比べれば3倍という異常さはそのまま。今回の北総鉄道発表と成田空港線開業前の主な駅間の運賃比較は次の通りです。

	基本運賃（切符）		通勤定期		通学定期	
	開業前	27/4	開業前	27/4	開業前	27/4
N T中央～高砂	760円	770円	172370円	175790円	52160円	40160円
牧の原～高砂	790円	800円	179180円	182770円	54470円	41960円
日医大～高砂	820円	830円	185980円	189690円	56090円	43180円

数々の問題点は、依然として残されたまま…

- 北総鉄道の発表は通学定期は「10年固定化」といいますが、こんなことは認められない。
- 京成から成田空港線の線路使用料をまともに貰えば27億円の増収で運賃値下げが可能。
- 北総の利益は4年間で1.5倍増。増えた利益で通学定期を3分の1、運賃15%下げられる。
- 千葉県知事の貸付金返済5年間猶予は4億円の利子免除で補助金そのもの。違法の疑義あり。

◆詳しくは北実会HP「平成27年4月1日以降の北総運賃と耐震補助等に係る見解」をご参照ください。